

事業計画及び成長可能性に関する事項

JIG-SAW株式会社

2024年3月21日

JIG-SAWが提供する各種データコントロールサービス

• IoTデータコントロール

- 多種多様な施設における機器・ハードウェア基盤に内蔵可能なIoTデータコントロールソフトウェアをベースにしたライセンス・IoT管理・オペレーションサービス
- 組み込みIoTエンジンのOEMライセンスのグローバル提供及びサブスクリプション管理
- 標準通信規格（Matter）へのグローバル対応

• グローバルデータコントロール

- 北米・欧州・アジア地域を対象にした海外言語オペレーション
- JIG-SAW北米センター拠点におけるデータコントロールサービス業務提供

• クラウド/業界特化データコントロール

- パブリッククラウド基盤対象のサービス
- クラウドセキュリティSaaSおよびオペレーション
- インダストリアル別サービス（金融業界を軸に、深い業界専門知識をベースにした業界特化サービス）

• ソフトウェア（自動運転）を基軸としたデータコントロール

- 建機搭載される自動運転ソフトウェアライセンスとそのデータマネジメントサービス

2024年度のJIG-SAW

- 堅調な売上と確実な利益、そして継続的な先行投資を実行

過去9年間、36四半期連続で過去最高の月額課金売上のプラス成長（前年同期比較）をしており、既存事業から創出される着実な事業利益を毎年度確保・投資源泉とし、引き続き来るべき壮大なIoT化とインターネットのデータコントロール需要の全盛時代に向け、**高い成長への着実な取り組み**とともに、**クラウドセキュリティSaaSサービスを一気に投入**してまいります。

- EXG ↗（Exponential Growth：指数関数的な成長）へ

当社は2023年以降をEXG ↗（Exponential Growth：指数関数的な成長）期間と位置付けており、JIG-SAWとして初の合弁会社、**SBIグループとのSBI JIG-SAWモダナイゼーションズ※1の設立に合意（2024年1月に設立完了）**し、現行の既存事業であるデータコントロール事業の領域を一気に**金融業界全般・そしてグローバル**に押し上げていくことになります。

- EXG ↗をより一層高いレベルで実行していくための先行投資と新事業開発

IoT分野においては**NTT東日本との業務提携契約※2**を公表していますが、ベースにある当社のIoTコア技術はグローバルでも高く評価されており、日本のみならず欧米での展開を加速していくとともに、自動運転ソフトウェアライセンスの商用化／ビジネス拡大等を一気に推し進めます。これらは2024年以降**大きなビジネスインパクト**へ繋がっていくことが期待されます。

※1 出資比率：SBIセキュリティ・ソリューションズ 51%・JIG-SAW 49%（持分法適用会社） 詳細は、2023年11月28日付の当社プレスリリース参照

※2 詳細は、2023年11月2日付の当社プレスリリース参照

GROWTH

GROWTH：売上（2024～）

1. 既存OPS（データコントロール）事業拡大

- 既存取引自体のオーガニック拡大（完全ストック型ビジネス）
AWS日本拠点への大規模投資等、マーケットはより一層拡大
- 新マーケット獲得・拡大
合併会社（JV）経由：金融セクター案件加速、グローバル案件、北米データコントロールセンターの大幅な業務拡大予定
- 三大クラウドサービス管理取扱額拡大に伴う業容拡大
前年比60%超増加（2023実績）

2. グローバルIoTデータコントロールサービス拡大

- IoTライセンス（完全ストック型ビジネス）
組み込みIoTソフトウェア（NEQTO／日本、米国および台湾での特許取得済）を多種多様な施設、機器、装置・設備にソフトウェアライセンス提供
- IoTデータコントロールサービス
IoT機器・設備におけるリモート自動監視・自動制御・自動復旧・自動更新需要の取り込み

3. 自動運転&IoTデータコントロールビジネス開始と拡大（2024年度ビジネス開始）

- IoTと自動運転ソフトウェアの統合モデル
ソフトウェアライセンスおよびIoTエンジン（NEQTO）+データコントロールの統合サービス

GROWTH：既存事業収益

直近3カ年の営業利益率は19%前後を推移



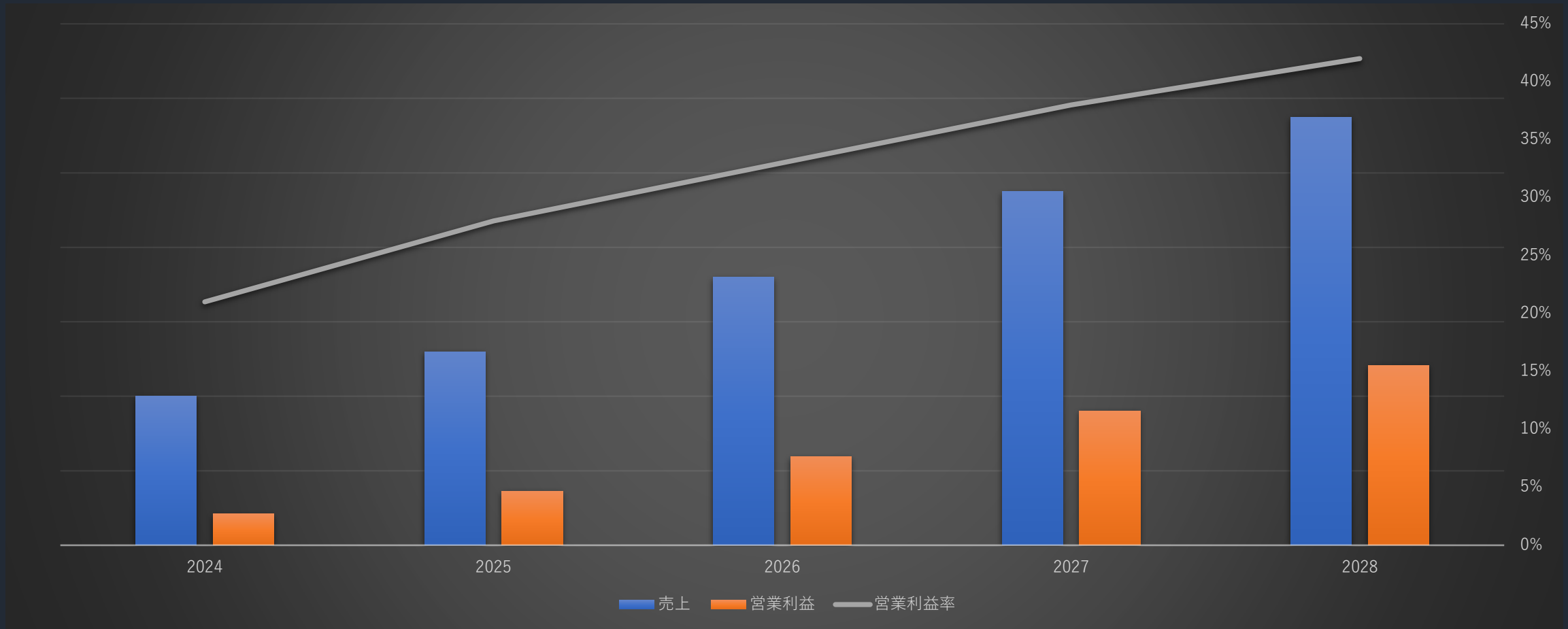
Auto Control：（生成AI処理・無人化）による一層の収益拡大
営業利益率19%を2028年までに40%超へ

統合型独自業務プラットフォームと生成AI

- ・ 専門開発部門・組織を保有
- ・ 統合型自動制御独自プラットフォームのローンチ
- ・ 生成AIモデルによる業務処理
 - ・ 従来組織・ルーティン業務消滅
 - ・ 自動処理・生成AI処理・無人化ソフトウェア群の平行開発
 - ・ サービス業務だけではなく、請求や見積もり・提案までを制御

既存事業ターゲット

既存OPS事業のみの売上拡大・高収益へのターゲット



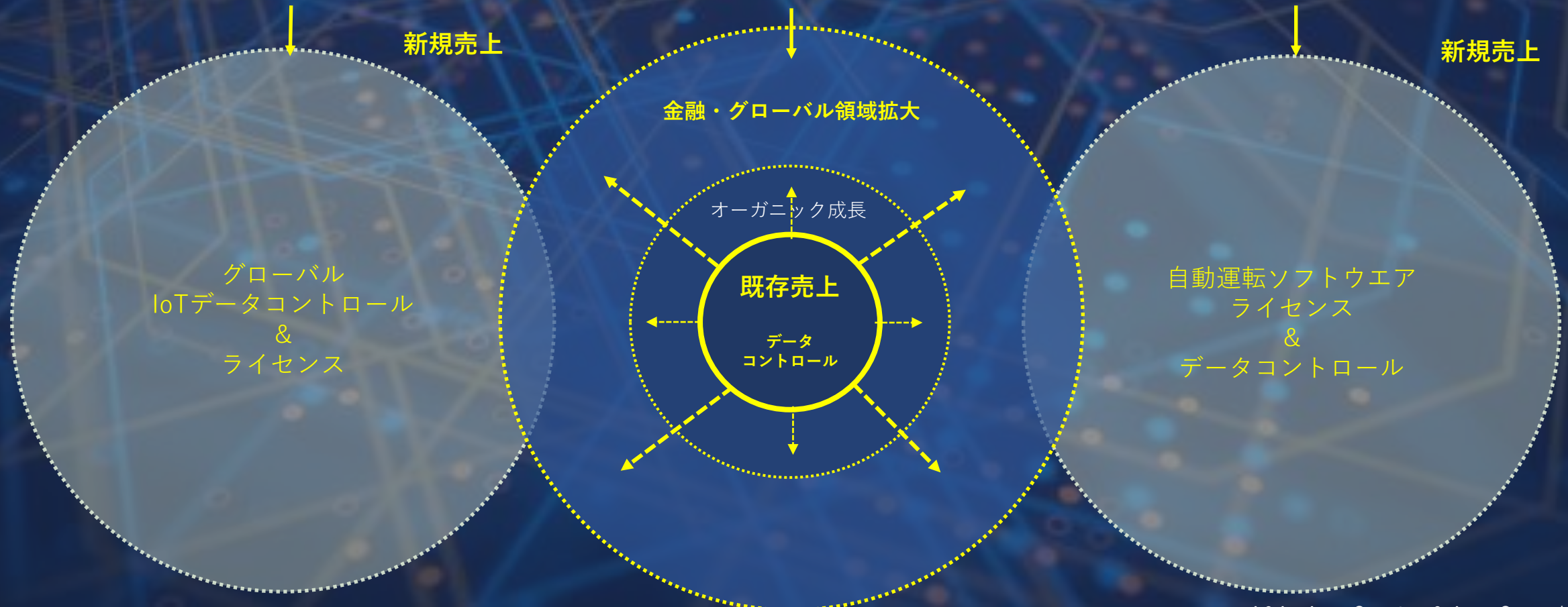
※業績条件付株式報酬制度（パフォーマンス・シェア・ユニット）における業績条件の補足であり、利益計画ではありません

高成長へ：既存拡大と新規サービス

JIG-SAW保有基盤技術からの応用・ビジネス化

ソフトウェア&ハードウェア技術

OS開発技術・通信制御技術・自動運転技術・データコントロール自動制御技術 (A&A)・生成AI制御・膨大なナレッジバンク



JIG-SAWのこれから

- **既存事業：年率二桁パーセント以上の売上拡大**

金融セクター・グローバルマーケットを軸に加速

- **既存事業：超高収益なモデルへ進化**

自動化・生成AI化による収益率の大幅な上昇

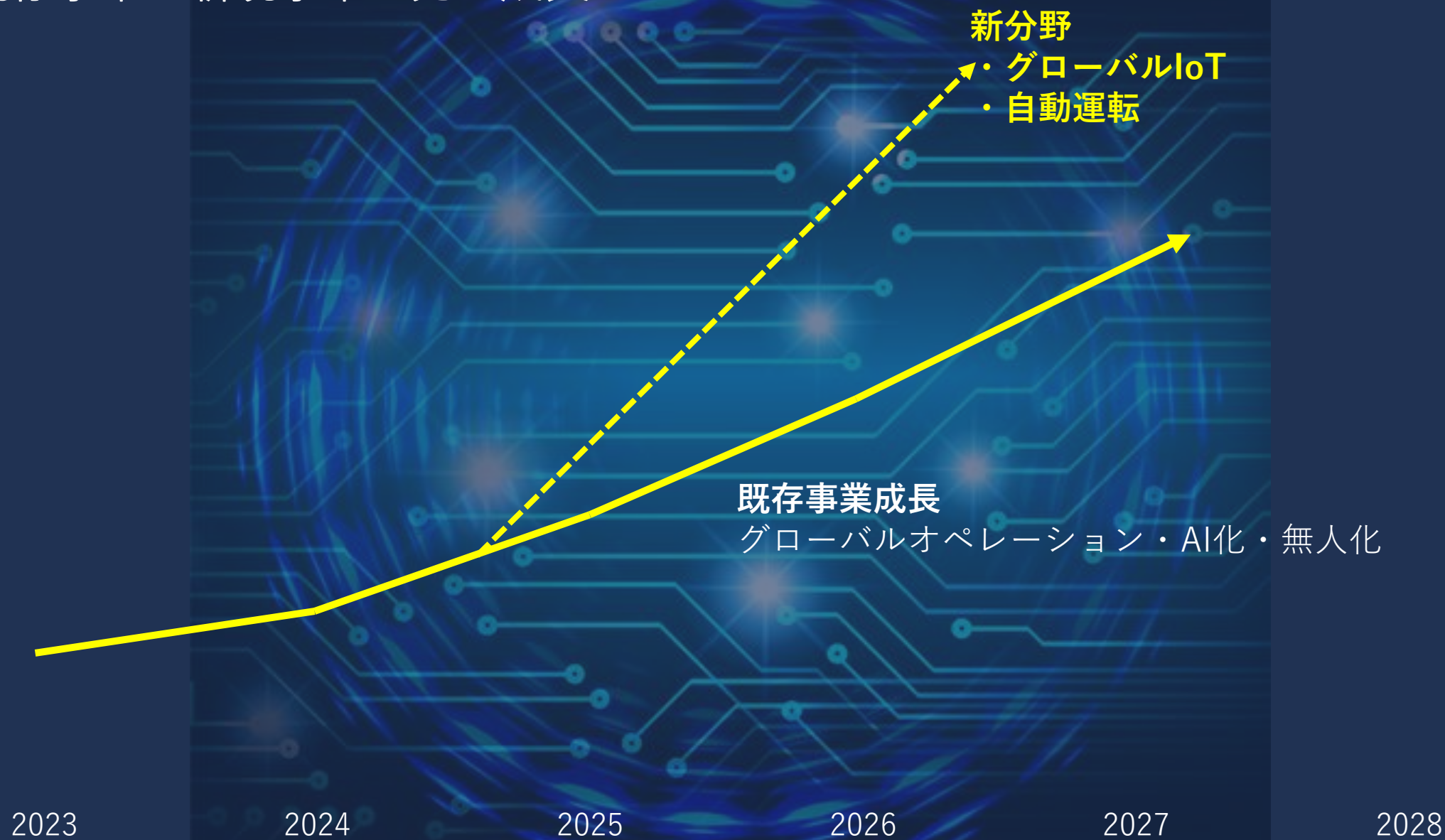
- **スケールビジネスの拡大**

グローバルIoTビジネス（ライセンスモデルとデータコントロールモデル）による膨大なビジネス獲得

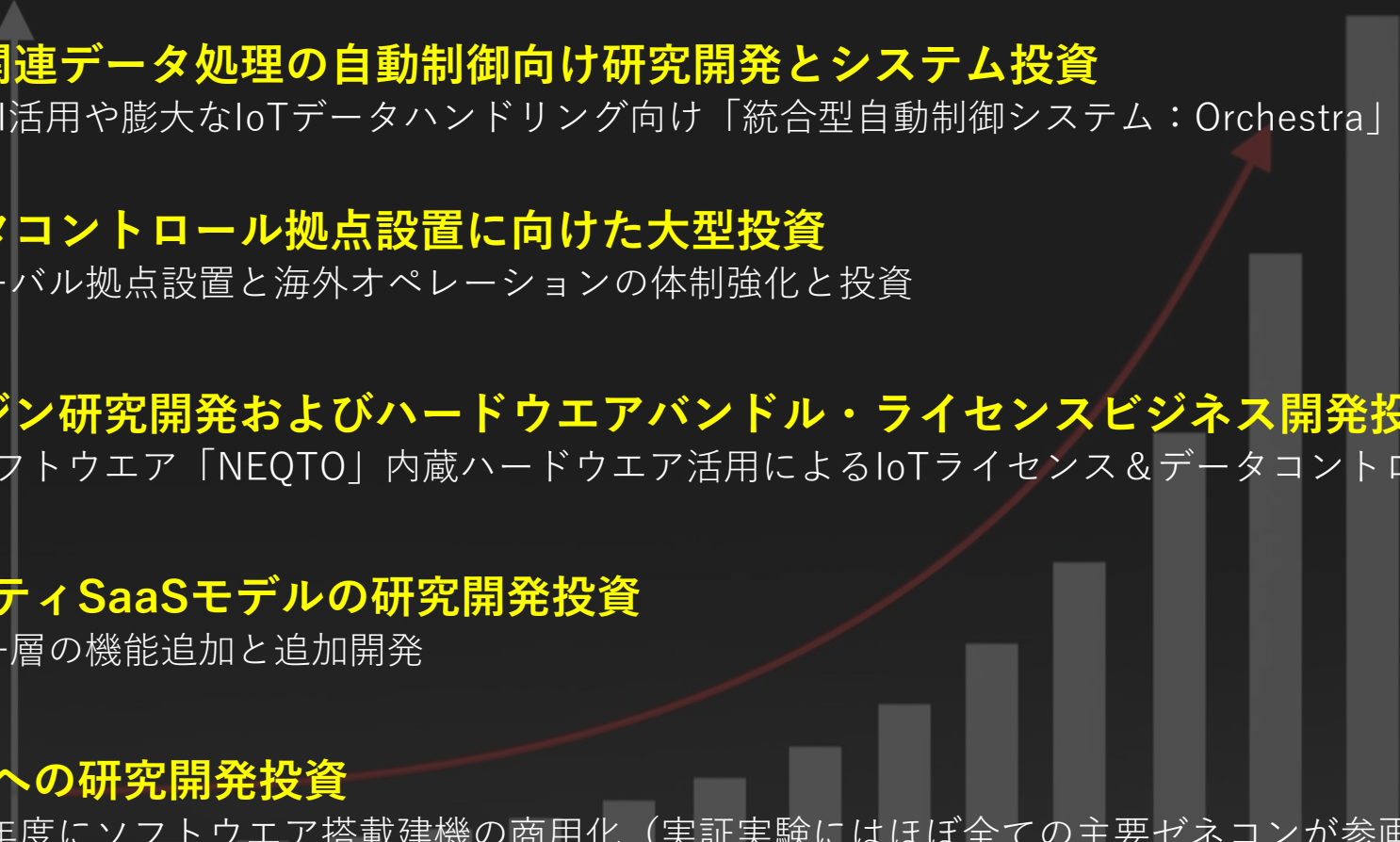
- **自動運転+IoTデータコントロール統合サービス開始**

世界初の取り組みを通じた自動運転+IoTパッケージの展開

既存事業 + 新規事業 売上成長イメージ



引き続き高成長への先行投資継続

- 
- **大量IoT関連データ処理の自動制御向け研究開発とシステム投資**
 - 生成AI活用や膨大なIoTデータハンドリング向け「統合型自動制御システム：Orchestra」高度機能開発
 - **IoTデータコントロール拠点設置に向けた大型投資**
 - グローバル拠点設置と海外オペレーションの体制強化と投資
 - **IoTエンジン研究開発およびハードウェアバンドル・ライセンスビジネス開発投資**
 - IoTソフトウェア「NEQTO」内蔵ハードウェア活用によるIoTライセンス&データコントロール
 - **セキュリティSaaSモデルの研究開発投資**
 - より一層の機能追加と追加開発
 - **自動運転への研究開発投資**
 - 2024年度にソフトウェア搭載建機の商用化（実証実験にはほぼ全ての主要ゼネコンが参画）
 - 他社製建機協調システムとの接続実験・建設発生土受入地整備工での自動化自律化運転の実証施工
 - 自動・自律化高度な遠隔操縦支援システムの開発と検証・エンドユーザのオペレーションによる実証本施工
 - **再生医療分野へ継続的な研究開発投資**
 - より大きな米国でのプロジェクト開始へ移行

IoTデータコントロール

- **IoTエンジンのライセンス（OEM）サービス**

国内外において特許取得済

- **次世代HOME IoT標準通信規格（※）対応ソフトライセンスサービス**

※標準通信規格：Matter

- **IoTエッジ・クラウド双方の自動制御・コントロールサービス**

エッジ設備・機器およびクラウド・サーバーサイド全体を統合的に管理
設定・コンテンツアップデート業務、メンテナンス業務の置き換え

自動運転プロジェクト 参画企業群と具体的な取り組み

実証実験 (公表済のみ)

2020年2月	大林組	5Gネットワーク配下における他の遠隔制御建機との連携
2020年8～9月	大成建設	独自の協調システムへ接続し、他の建機との協調制御
2021年2～3月	大林組	5G配下での他遠隔制御建機との連携による実施工の効率化検証
2021年9月	熊谷組	自律走行性能の精度検証
2022年12月	A社	A社独自の協調システムとの接続実験
2023年9月	国土交通省	自動施工機械・要素技術サブワーキンググループ 建設機械施工の自動化・遠隔化技術に係る現場検証
2023年11～12月	大林組	建設発生土受入地整備工での自動化自律化運転の実証施工
2024年1月	安藤ハザマ	酒井重工業実験フィールドでの安藤ハザマ製協調システムとの接続実験

プロジェクト参画企業群

- 2020年2月 株式会社大林組
- 2020年6月 株式会社安藤・間
- 2020年6月 大成建設株式会社
- 2021年1月 株式会社熊谷組
- 2022年6月 清水建設株式会社

2024年 (今年) 商用化

再生医療分野

人間の視覚再生プロジェクト「NEW VISION」

当社技術の応用→色信号を制御し脳に伝送するソフトウェア開発

- ソフトウェア技術で人間の**視覚能力（知覚）の拡張**を実現
日本、米国、欧州5か国、中国、香港及び台湾においてソフトウェア+グラス**特許登録完了**
- 臨床に向け引き続きハイレベルの独自アルゴリズムの研究開発を継続
米国にてプロジェクト化予定。



IoT・IoE・IoA

IoE・IoA

当社技術の応用範囲は、あらゆる設備・機器が繋がるIoT (Internet of Things)にとどまらず、あらゆる物質、そして細胞までもカバーするIoE (Everything)、そして人間の能力自体を拡張させるIoA (Abilities) までを視野に入れています。

JIG-SAWが取り組む前述の視覚再生プロジェクト「NEW VISION」は、まさにIoA (ヒューマンオーグメンテーション) の取り組みの一つです。

人間の五感の拡張

NEW VISIONプロジェクトは、人間の知覚をソフトウェアによって拡張することを念頭にしたプロジェクトで、テクノロジーと人間の実質的な統合により、いわゆる人間の五感 (視覚・聴覚・味覚・臭覚・触覚) の拡張を目指しているものです。

Change the Game
&
Change the World

本資料の取り扱いについて

本発表に記載された内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

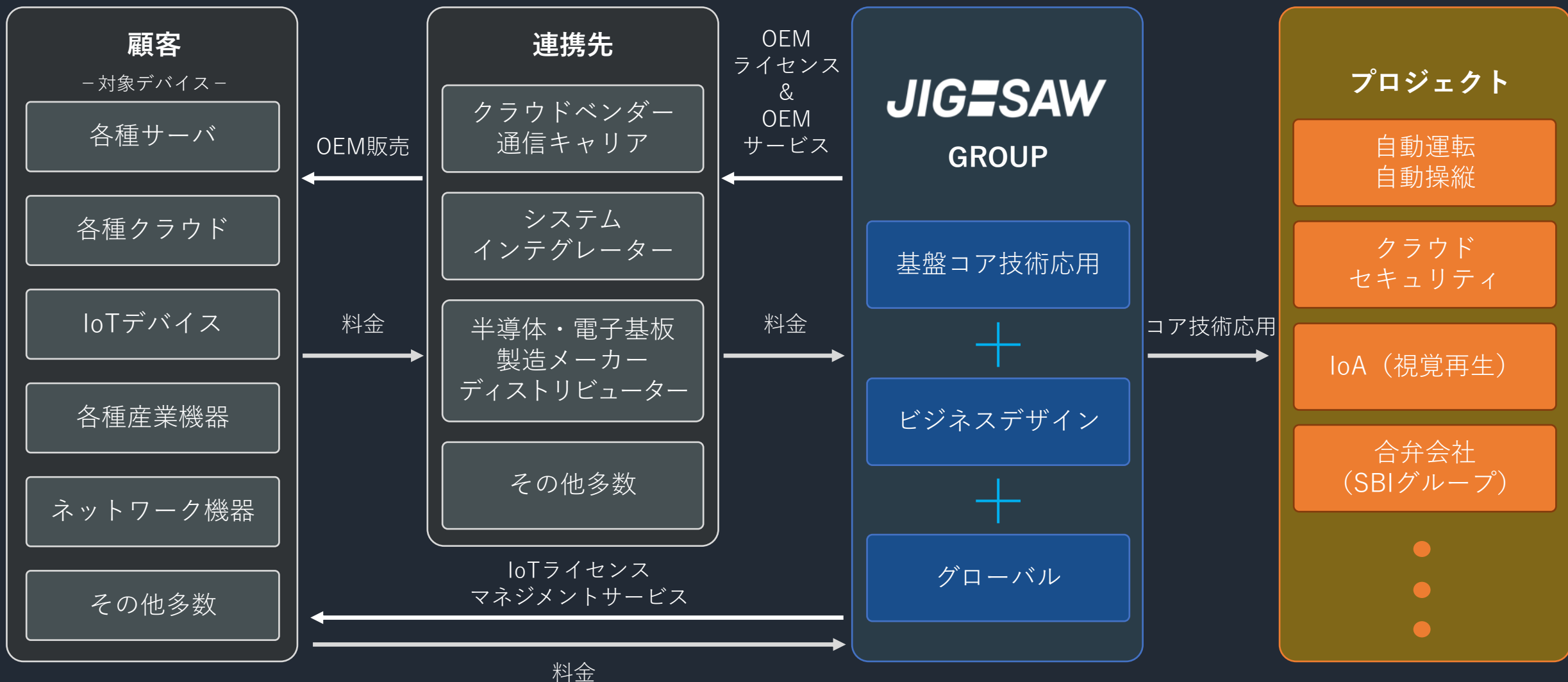
本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。これらの記述は、将来の結果や業績を保証するものではありません。将来の実際の業績や財務状況は、予測とは大きく異なる可能性があります。

本資料は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込みまたは買付けの申込みの勧誘(以下「勧誘行為」という。)を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。個別契約やビジネス等に関する情報につきましても、秘密保持契約等に基づき原則非開示となりますが、開示が可能となった段階で適時適切にニュースリリースおよび適時開示を行ってまいります。IR取材や決算説明会等におきましても、上記と全く同様の対応をしております。

本資料の更新は、本決算の発表以降、3月末までに開示を行う予定です。

Appendix

データコントロール事業のビジネスモデル



ターゲットとする市場環境

世界のCPS/IoT市場規模予測



2022年から2030年までの累計は2,000兆円を超える

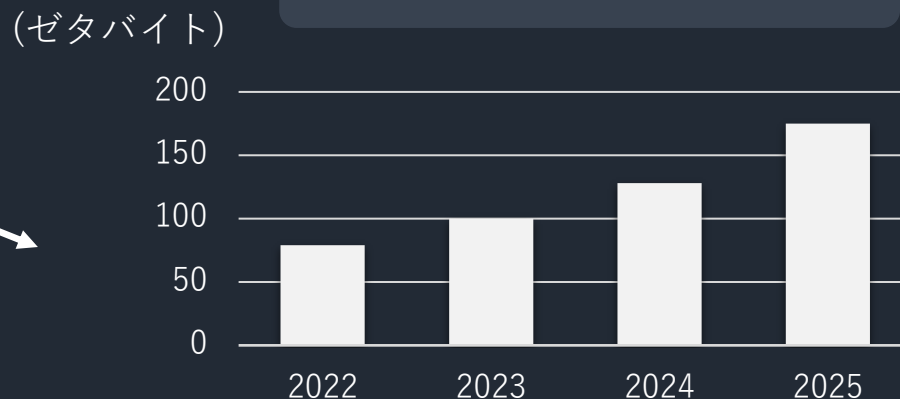
※Source: JEITA

世界のMCU生産台数 (予測値)



※Source: Global IoT Microcontroller (MCU) Market Insights, Forecast to 2026

世界のデジタルデータ量 (予測値)



※Source: Data Age 2025, Sponsored by Seagate with data from IDC Global DataSphere

ターゲットとする市場環境

IoTの世界市場・・・2028年までに2兆600億ドル（予測）

※グローバルインフォメーション 「IoTの市場規模とシェア分析- 成長動向と予測（2023年～2028年）」

半導体の世界市場・・・2030年までに1兆ドル（予測）

※SEMIジャパン 2023年12月12日 プレス向け説明会

検査、修理、メンテナンスの世界市場・・・2029年までに724億ドル（予測）

※Fortune Business Insightsのレポートより

予知保全の世界市場・・・2030年までに325億ドル（予測）

※Panorama Data Insightsのレポートより

保守メンテナンスサービス国内市場・・・2025年までに2兆9,350億円（予測）

※富士経済 「2021年版 設備メンテナンス・ビジネス関連市場の現状と将来展望」

設備保全管理ソフトウェアの世界市場・・・2028年まで521億ドル（予測）

※Facility Maintenance Management Software - Global Market Share and Ranking, Overall Sales and Demand Forecast 2024-2030 by QY Research

サイバーセキュリティの世界市場・・・2030年までに4,249億ドル（予測）

※Fortune Business Insightsのレポートより

ターゲットとする市場環境

マネージドサービスの世界市場・・・2030年までに8,479億ドル（予測）

※Panorama Data Insightsのレポートより

エッジコンピューティングの世界市場・・・2030年までに328億ドル（予測）

※Report Oceanのレポートより

5G技術の世界市場・・・2030年までに3,571億ドル（予測）

※グローバルインフォメーション 「5G技術の世界市場- 2023年～2030年」

世界のIoTデバイスの数・・・2030年までに290億台（予測）

※Number of Internet of Things (IoT) connected devices worldwide from 2019 to 2023, with forecasts from 2022 to 2030 by Statista

世界のデジタルデータ量・・・2025年までに175ゼタバイト（予測）

※Data Age 2025, Sponsored by Seagate with data from IDC Global DataSphere

世界のMCU生産台数・・・2026年までに93億台（予測）

※Global IoT Microcontroller (MCU) Market Insights, Forecast to 2026 by Inkwood Research

2023 経営方針・具体的な成長戦略

経営方針

全産業のIoT化に当社独自技術で寄与し、世界のIoT・クラウドデータのEnd to Endにおいて中心的存在となる

具体的な成長戦略



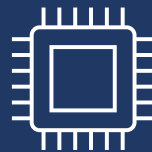
IoT分野のビジネス拡大
既存事業のグローバル化



グローバルのキー企業との
提携・連携・協業



ソフト（エンジン）がハードの
ビジネスをリード



OEM内蔵をステルス
（水面下で）進行



将来に向けた投資を継続
（前年度以上）

成長戦略の進捗状況

具体的な成長戦略

ビジネス拡大及びグローバル化
キー企業との提携・連携・協業

ソフト(エンジン)の進行

強固な既存事業の
利益をベースとした
将来に向けた投資

進捗状況

- ・ AWSマネージドサービスプロバイダープログラム認定を取得 (2023年10月)
- ・ スマートホームの普及促進に向け、NTT東日本と業務提携 (2023年11月)
- ・ Connectivity Standard Allianceに加盟 (2023年11月)
- ・ SBIセキュリティ・ソリューションズとの合弁会社設立について最終契約締結 (2023年11月、2024年1月に合弁会社設立済み)

- ・ MLB (米国メジャーリーグベースボール) のサンディエゴ・パドレスの本拠地である ペトコ・パーク (PETCO Park) に当社IoTエンジン「NEQTO」を導入 (2023年8月～)

- ・ 研究開発・販売促進・人的資本投資・グローバル展開のための先行投資を実施し、前年同期と比較し約158,000千円増加

2024 経営方針・具体的な成長戦略

経営方針

世界の隅々までつながる
デジタルユニバース時代の中心の1社に位置する

具体的な成長戦略



データコントロール事業
の拡大・グローバル化
P2-6, 10-12



グローバルのキー企業と
の提携・連携・協業
P2-5, 15



ソフト（エンジン）がハード
のビジネスをリード・OEM
サービス
P2-5, 10, 13-15

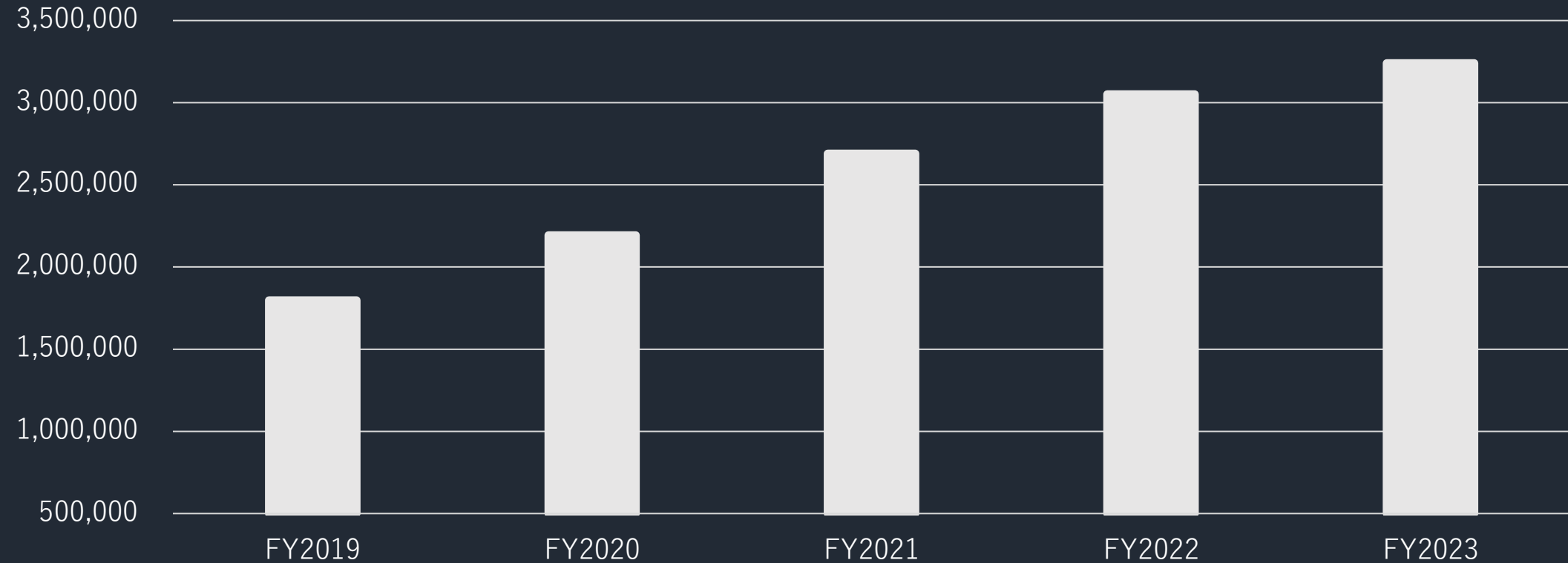


将来に向けた投資を継続
（前年度以上）
P3, 13, 16-17

売上高推移

システムマネジメントサービスが売上高を牽引し、
極めて堅調な成長を実現

(単位：千円)



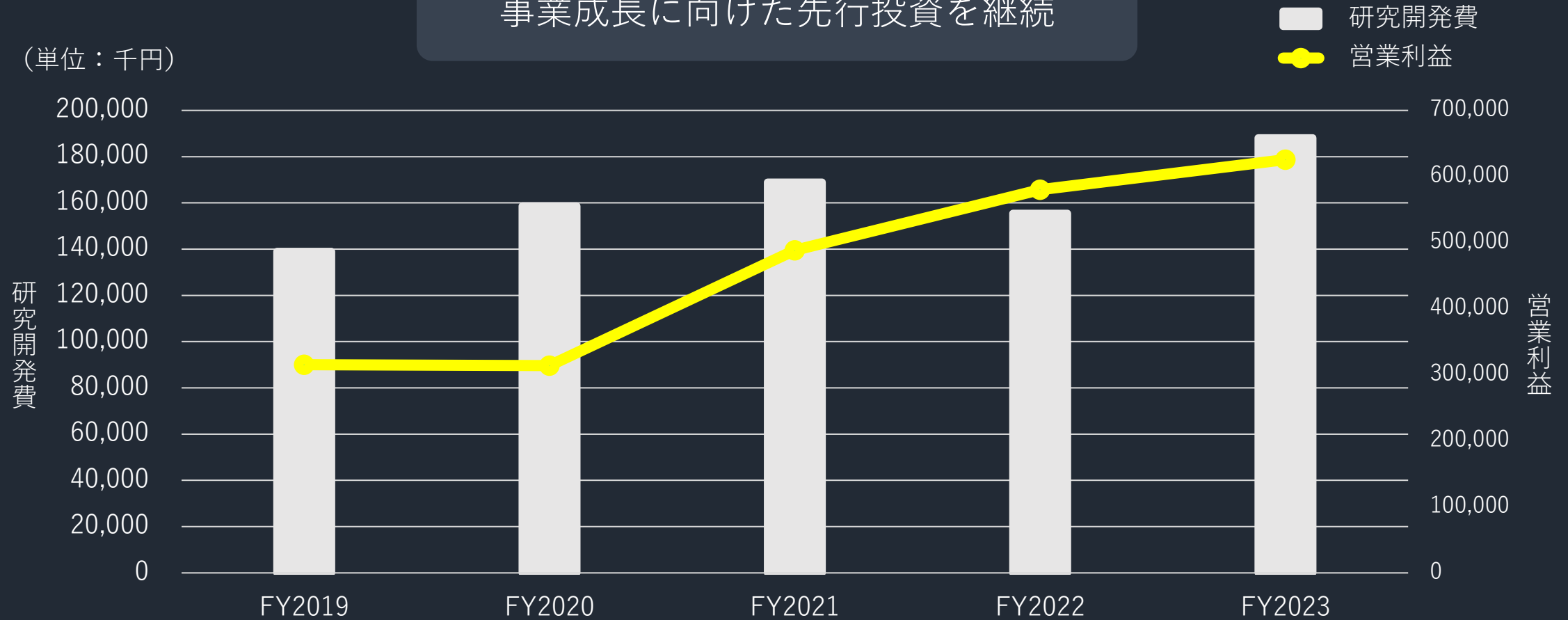
上場以来**36四半期連続**で**過去最高**の月額課金売上の**プラス成長**

※前年同期と比較して月額課金売上は 195,749千円純増。

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を2022年度から適用しており、2021年12月期の売上高については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

研究開発費・営業利益推移

事業成長に向けた先行投資を継続

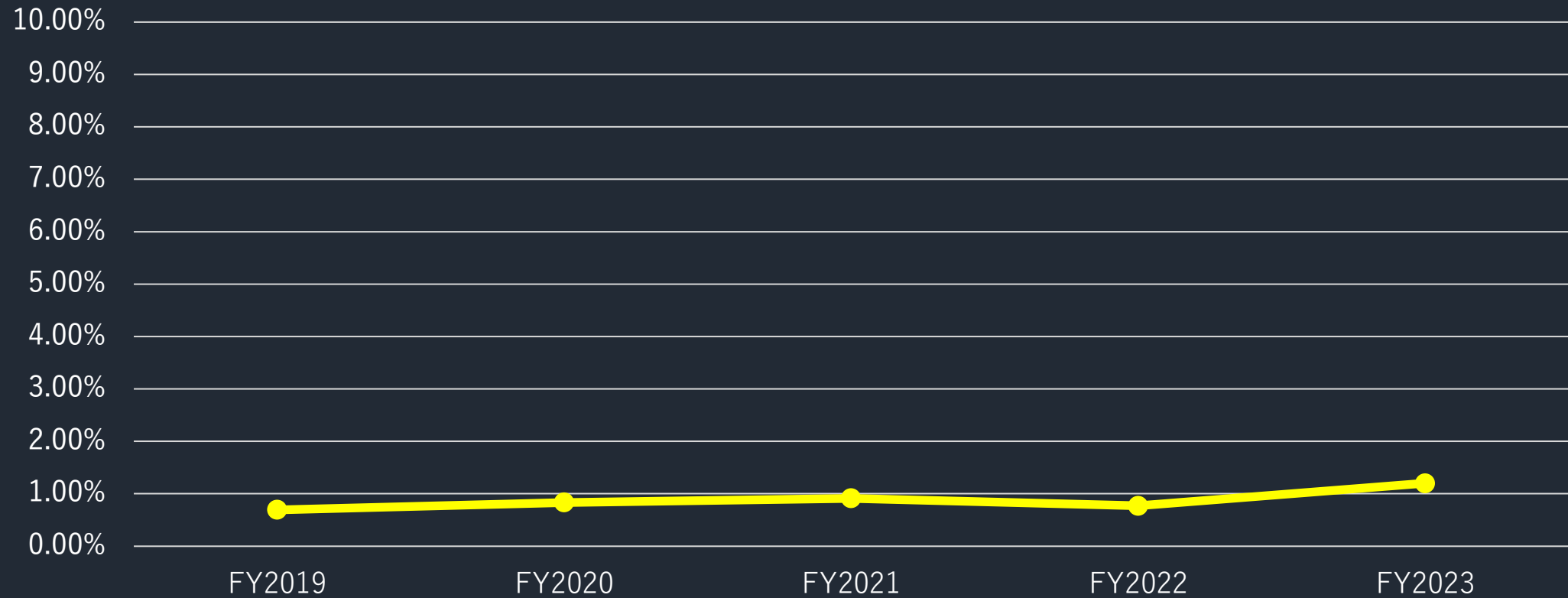


研究開発・販売促進・人的資本投資・グローバル展開のための先行投資を積極的に進めながらも **営業利益のプラス成長を実現**

※研究開発は主にNEQTO、自動運転、再生医療分野など

解約率推移

解約率は**低水準を維持**



※解約率：既存契約金額に占める解約に伴い減少した金額の割合

主要リスクへの対策

市場動向 について

リスク

当社データコントロール事業は、世の中のインターネットサービスやインターネットとつながる全てのモノが快適かつ安定稼動するため、全てのモノを繋ぎ制御していくために、自動検知&自動制御（A&A）をコアコンセプトとしたサービスを主力事業としております。当社グループのターゲットとするIoT市場は、今後もさらなる拡大が予測されております。しかしながら、今後、新たな法的規制や業界団体による規制の導入、その他予期せぬ要因等により、顧客企業におけるシステム保守運用の外部委託の縮小や内製化若しくはニーズの変化等、市場規模が縮小する動きがみられた場合には、当社グループの事業及び業績に影響を及ぼす可能性があります。（発生可能性：高 / 発生時期：中長期 / 影響度：大）

対策

当社グループは、今後も市場の成長傾向は継続すると見込んでおりますが、引き続き入念な市場調査を行うとともに、市場動向の変化に応じた適時適切な経営判断による柔軟な対応により、当該リスクの低減に努めております。

不測の災害・ 事故・重大な 感染症の拡大 及びシステム トラブル等 について

リスク

当社グループの事業は停電、電話線等の故障等の影響を受けやすく、当社のネットワークインフラは地震の影響を受けにくい札幌を中心としておりますが、当社グループの事業はインターネット接続環境の安定した稼働が、事業運営の前提であると認識しております。そのため、予期せぬ自然災害や事故、感染症の流行等、ソフトウェアの不具合、ネットワーク経由の不正アクセスやコンピュータウィルスの感染など、様々な問題が発生した場合にはサービスの安定的な提供が困難となり、当社グループの事業及び業績に影響を及ぼす可能性があります。（発生可能性：中 / 発生時期：不明 / 影響度：大）

対策

当社グループは、不測の災害・事故・システムトラブル等に備え、常時データバックアップやセキュリティ強化を実施することや、海外拠点からの安定性の高い充実したサービス提供ができる体制を構築するなど、当該リスクの低減に努めております。また、重大な感染症に備え、新オフィスの設立による人員の分散や感染症対策の周知・徹底・運用などにより、当該リスクの低減に努めております。

その他用語集

用語	説明
OPS	サーバ・クラウド運用のみならず、あらゆるデバイスや機器を対象とする当社マネージドサービス (Operation Service)
OEM	「Original Equipment Manufacturing」の略称で、製造メーカーが他社ブランドの製品を製造すること
SaaS	「Software as a Service」の略称で、「サービスとしてのソフトウェア」を意味する